JSNPT SIGs -日本神経理学療法学会 参加型フォーラム 2017-「現状と未来の道標」

開催概要

会期: 2017年11月4日(土)9時~18時00分

5日(日)9時~16時30分

場所: 首都大学東京 荒川キャンパス

大会長: 吉尾雅春 副大会長: 網本 和

準備委員: 大畑光司、松田淳子、高村浩司、諸橋 勇

主催: 日本神経理学療法学会、(公社)日本理学療法士協会

開催趣旨

2017 年は日本理学療法士学会の分科学会が独立し、それぞれの専門性を高めるべく活動を開始する年度に当たる。日本神経理学療法学会では、今後、新たな一歩を踏み出すために、それぞれの分野、領域における問題点、行動目標を明確にして方向性を定める必要がある。本学会では日本神経理学療法学会に関連するすべての領域において、多方面の SIG を形成し、より活発に連携と議論を深めることを目標に、以下の企画を行う。

開催概要

1) 基調講演

「日本神経理学療法学会の果たすべき役割」

 座長 首都大学東京
 網本 和

 講師 大会長
 吉尾雅春

2) シンポジウム

6 つのテーマ別シンポジウムはそれぞれ 1 時間 20 分、シンポジスト 3 名で構成される。全体で 18 名のシンポジストで各自の講演は質疑を入れて 20 分、それぞれのシンポジウムの討論時間を 20 分とする。

シンポジウム1 「エビデンスを生かす」

座長 いわてリハビリテーションセンター 諸橋 勇

「診療ガイドラインの意義」

山梨リハビリテーション病院 伊藤克浩

「診療ガイドラインが持つ役割の理解と Evidence-based practice に対する意識変容および

教育機会の必要性」

京都大学

藤本修平

「診療ガイドラインの活かし方」 藤田保健衛生大学病院 平野明日香

シンポジウム2 「歩行再建と運動学習」

座長 京都大学

大畑光司

「脳卒中片麻痺者がスタスタ歩くために必要な、立脚期後半の股関節・足関節の

動きにまつわるエトセトラ」

宝塚リハビリテーション病院

「脳卒中急性期から行う歩行再建を目指した積極的トレーニング」

広南病院

阿部浩明

「歩行再建のための運動学と神経生理学的背景」

京都大学

大畑光司

シンポジウム3 「脳機能解剖と MRI 画像」

座長 千里リハビリテーション病院

吉尾雅春

「脳機能解剖と脳画像」

千里リハビリテーション病院 吉尾雅春

「MRI 画像を臨床に生かす」

製鉄記念八幡病院

小柳靖裕

「脳内ネットワークの可視化とリハビリテーション」

福岡国際医療福祉学院

玉利 誠

シンポジウム4 「動作分析と臨床的意思決定」

座長 健康科学大学

高村浩司

「脳卒中後片麻痺者の動作分析」

麻生リハ専門学校

松崎哲治

「脊髄損傷者の動作分析」

星ヶ丘医療センター

羽田晋也

「神経筋疾患に対する動作分析と臨床意思決定」

横浜市立市民病院

斎藤 均

シンポジウム 5 「新しい理学療法技術の展開」

座長 大阪行岡医療大学

松田淳子

「新しい時代の理学療法の進化とは」
城西国際大学

松田雅弘

「筋電図バイオフィードバック療法の効果と実用例」

広島都市学園大学

甲田宗嗣

「脳卒中リハビリテーションにおける物理療法の新機軸」

西大和リハビリテーション病院 生野公貴

シンポジウム6 「脳機能からの臨床提言」

座長 首都大学東京

網本 和

「ニューロリハビリテーションにおける新しい枠組み -古くて新しい comparator model の

紹介-|

畿央大学

森岡 周

「Pusher現象に対する新たな治療戦略と定性的評価」

埼玉医科大学国際医療センター 藤野雄次

「半側空間無視の脳科学的知見と臨床応用」

北里大学メディカルセンター 渡辺 学

3) 地域連携カンファレンス

2名のシンポジストにご紹介していただく。各自の講演は質疑を入れて20分、全体討論を20 分とする。

地域連携カンファレンス -キックオフシンポジウム-

座長 群馬パース大学

中徹

「大阪府三島圏域における地域連携の現状 ~問われる理学療法士の連携スキル~」

愛仁会リハビリテーション病院 大垣昌之

「神戸における地域連携の試み ~神戸装具療法地域連携ミーティングの紹介~ |

適寿リハビリテーション病院 栄健一郎

地域連携カンファレンス -名刺交換会-

参加者を地域別(北海道、東北、関東、甲信越、東海北陸、近畿、中国四国、九州)に分割し、 自己紹介を兼ねた名刺交換会を行う。各地域別にコーディネーターを配置し、それぞれの地域ご との自己紹介を行う。

コーディネーターは以下のとおり

北海道 吉尾雅春

東北 諸橋 勇

関東 保苅吉秀、松田雅弘、斎藤 均、中 徹

甲信越 高村浩司、北山哲也

東海北陸 大畑光司

関西 松田淳子、羽田晋也

中国四国 猪村剛史(広島大学)

九州 玉利 誠

4) 実技検討ワークショップ

4つのテーマについて1時間20分の実技検討ワークショップを行う。ワークショップとする。 臨床経験10年目までの参加者を対象として、JSNPT SIGs 事前参加申し込み後、別途参加者を 募ります。日本神経理学療法学会のサイト(http://jspt. japanpt.or. jp/jsnpt)の「新着情報一覧」で詳細をご確認の上、事前申し込みをお願い申し上げます。(定員それぞれ40名)。

実技検討ワークショップ1

WS1-1 「ICU (Intensive Care Unit) における早期リハビリテーション」

順天堂大学医学部附属順天堂医院 保苅吉秀

WS1-2 「姿勢・運動に対するアプローチ」

いわてリハビリテーションセンター 諸橋 勇

実技検討ワークショップ 2

WS2-1 「脳卒中片麻痺者の麻痺側機能改善を目指した体幹機能と起居動作への介入」

山梨リハビリテーション病院 伊藤克浩

WS2-2 「脊髄損傷者へのアプローチ」

JCHO 星ヶ丘医療センター 羽田晋也

5) Special Interest Groups (SIGs)

神経疾患に対峙する理学療法士が課された様々な問題について、現状の到達点と将来的な課題を整理するためのディスカッションを行う。

開始時に各担当者及び担当者の選出した指定発言者(2-3名を選出)から SIG テーマについての現在的論点を発表する(20分程度)。その上で参加者から今後の研究課題の目標について、基礎的もしくは臨床的観点から意見を聴取する(1時間程度)。

SIG における討議の結果について、1) 現時点での臨床課題と 2) 今後の研究すべき方向性についてまとめ、結果報告において 5 分以内で、各 SIG で話し合われたテーマを報告する。

4日の検討課題一覧

1-	筋緊張	担当	山梨リハビリテーション病院	北山哲也
2-	高次脳機能障害	担当	大阪行岡医療大学	松田淳子
3-	失調とパーキンソニズム	担当	健康科学大学	高村浩司
4-	運動発達障害	担当	群馬パース大学	中 徹
5-	動作分析	担当	横浜市立市民病院	斎藤 均
6-	リハビリテーション工学	担当	城西国際大学	松田雅弘
7-	脊髄損傷	担当	星ヶ丘医療センター	羽田晋也

5日の検討課題一覧

8-	病態理解と MRI	担当	福岡国際医療福祉学院	玉利 誠
9-	社会参加	担当	広島都市学園大学	甲田宗嗣
10-	運動学習	担当	京都大学	大畑光司
11-	歩行再建	担当	千里リハビリテーション病院	吉尾雅春
12-	姿勢制御とバランス	担当	いわてリハビリテーションセンター	諸橋 勇
13-	歩行とバイオメカニクス	担当	麻生リハビリテーション専門学校	松崎哲治
14-	急性期のリハ	担当	順天堂大学医学部附属順天堂医院	保苅吉秀

SIGs の結果報告 (SIG 1~7)11月5日(日)9:00~10:00SIGs の結果報告 (SIG 8~14)11月5日(日)15:20~16:20

6) 懇親会(首都大学東京 学生食堂にて)

参加者の親睦・交流を図る目的で、懇親会を開催したいと思います。

日本神経理学療法学会のサイト (http://jspt. japanpt. or. jp/jsnpt/) の「新着情報一覧」で詳細をご確認の上、事前申し込みをお願い申し上げます。

皆さまのご参加をお待ちしております。

《事前申し込み制》

【開催日時】 2017 年 11 月 4 日 (土) 18:00~

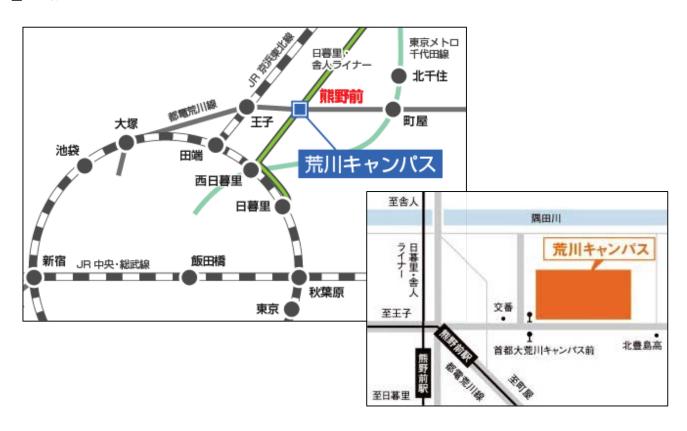
【懇親会参加費】 3,000 円 (参加費は当日会場受付でお支払いください)

11月4日 (土)	第 1 会場 (講堂)	第2会場 (大視聴覚室)	第3会場(182)	第4会場 (282)	第5会場(283)	第6会場 (332)	第7会場 (333)	第8会場(364)	第9会場 (運動療法室)	第10会場 (物理療法室)
9:00 ~ 10:00	基調講演 「神経理学療法学会の果たすべき役割(仮題)」 座長 網本 和 (首都大学東京) 講師 吉尾雅春 (千里リハビリテーション病院)									
10 : 00 ~ 10 : 30	開会式	第1会場 中継								
10 : 30 ~ 11 : 50	シンポジウム1 「エビデンスを生かす」 座長 諸橋 勇 (いわてリハビリテーションセンター) シンボジスト 伊藤克浩 (山梨リハビリテーション病院) 藤本修平 (京都大学) 平野明日香 (藤田保健衛生大学病院)									
11 : 50 ~ 13 : 00	(
13:00 ~ 14:20	シンポジウム2 「歩行再建と運動学習」 座長 大畑光司 シンポジスト 中谷知生 中部出 (広南病院) 阿部浩明 (広南病院) 大畑光司 (京都大学)		SIG 1 「筋緊張」 北山哲也	SIG 2 「高次脳機能障害」 松田淳子			SIG 3 「 運動発達障害」 中 徹	SIG 4 「失調と パーキンソニズム」 高村浩司		WS1-1 「ICU」 保苅吉秀
14 : 20 ~ 14 : 30		I	I	休	<u> </u>		I.	1		
14:30 ~ 15:50	シンポジウム3 「脳機能解剤とMRI画像」 座長 吉尾雅春 (千里リハビリテーション病院) シンポジスト 吉尾雅春 (千里リハビリテーション病院) 小柳靖裕 (製鉄記念八幡病院) 玉利 誠 (福岡国際医療福祉学院)	SIG 5 「動作分析」 斎藤 均			\$IG 6 「リハビリ テーション工学」 松田雅弘	SIG 7 「 容髄損傷」 藤縄光留			WS1-2 「 姿勢運動」 諸橋 勇	
15 : 50 ~ 16 : 00		1	ı	休	憩		1	1		
16:00 ~ 17:00	 地域連携シンポジウム 地域連携カンファレンス -キックオフシンポジウム- 座長 中 徹 (群馬バース大学) シンポジスト 大垣昌之 (愛仁会リハビリテーション病院) 栄健一郎 (適寿リハビリテーション病院) 	第1会場 中継								
17 : 00 ~ 18 : 00	地域別WG (関東)	地域別WG (関西)	地域別WG (九州)	地域別WG (東海北陸)	地域別WG (東北)	地域別WG (中国・四国)	地域別WG (甲信越)	地域別WG (北海道)		
18:00 ~	題親会									
11月5日 (日)	第 1 会場 (講堂)	第2会場 (大視聴覚室)	第3会場 (182)	第4会場(282)	第5会場(283)	第6会場 (332)	第7会場(333)	第8会場(364)	第9会場 (運動療法室)	第10会場 (物理療法室)
9:00 ~ 10:00	SIGsの結果報告 (SIG 1 ~ SIG 7)	第1会場 中継								
10:00 ~ 10:10				休	憩					
10 : 10 ~ 11 : 30	シンポジウム4 動作分析と臨床的意思決定」 座長 高村浩司 (健康科学大学) シンポジスト 松崎哲治 羽田晋也 (摩生リハビリテーション大学校) 羽田晋也 (星ヶ丘医療センター) 斎藤 均 (横浜市立市民病院)		SIG 8 「病態理解とMRI」 玉利 誠			SIG 9 「 社会参加」 甲田宗嗣		\$16 10 「運動学習」 大畑光司	₩\$2-1 「 筋緊張」 伊藤克浩	
11 : 30 ~ 12 : 30		1	ı	休	憩 I	I		1		1
12:30 ~ 13:50	シンポジウム5 「新しい理学療法技術の展開」 座長 松田淳子 シンポジスト 松田雅弘 (城西国際大学) 甲田宗嗣 (城西都市学園大学) 生野公貴 (西大和リハビリテーション病院)	\$IG 11 「 歩行再建」 吉尾雅春		SIG 12 「 姿勢制御と パランス」 諸橋 勇	SIG 13 「歩行と パイオメカニクス」 松崎哲治		SIG 14 「 急性期のリハ」 保苅吉秀			₩S2-2 「 存蝕損傷」 羽田晋也
13 : 50 ~ 14 : 00		·		休	憩					-
14:00 ~ 15:20		第1会場 中継								
15 : 20 ~ 16 : 20	SIGsの結果報告 (SIG 8 ~ SIG 14)									
1	1	1	1	1	I .	1	1	1		1

交通のご案内

〒116-8551 東京都荒川区東尾久 7-2-10 http://www.hs.tmu.ac.jp/access.html

■ 首都大学東京荒川キャンパス



- 最寄駅・バス停と交通のご案内
 - ◆ 日暮里駅・西日暮里駅から 日暮里・舎人ライナー「**熊野前**」駅下車 徒歩3分
 - ◆ 王子駅・町屋駅から 都電荒川線「**熊野前**」電停下車 徒歩3分
 - ❖ 田端駅から 都営バス(端 44 系統)「北千住駅行」に乗車 「首都大荒川キャンパス前」下車 徒歩 0 分
 - ❖ 北千住駅から 都営バス(端 44 系統)「駒込病院行」に乗車 「首都大荒川キャンパス前」下車 徒歩 0 分